様式第９号

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **※**  **融資機関コード** | | | | **承 認**  **年 度** | | **承 認**  **月** | | **承　認　番　号** | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※欄は融資機関が記入

|  |  |
| --- | --- |
| 農 業 近 代 化 資 金 手 帳 |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 借入者　住　所 | |  | |
|  |  | |  | |
|  | 借入者　氏　名 | 名　　称  代表者職氏名 | |  |

出　　納　　帳

　１　入出金の記録　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　月　日 | 入　　金 | 出　　金 | 残　　高 | 支　払　先 | 内 容 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  | |

２　事業費の調達 （単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 事業費 | 資　　　　　金　　　　　調　　　　　達 | | | | |
| この借入金 | 自己資金 | その他（　　） |  | 計 |
| 当初計画 |  |  |  |  |  |  |
| 実施結果 |  |  |  |  |  |  |
| 差　引 |  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 当初計画と実施結果が違った場合の理由 |

　　領収書又は振込受取書（又はその写し）の貼付欄

　　（注）　領収書又は振込受取書（又はその写し）の日付が、現金振込、預貯金振替を行った日であることを確認し、出納帳に同日付けで記入してください。

　　　　　　領収書又は振込受取書（又はその写し）は、日付順に貼ってください。

　　３　請負契約書等の一覧表

（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工事名 | 設計金額 | 契　　　　　　　　　　約 | | | | | |
| 年月日 | 金 額 | 着工年月日 | 施工年月日 | 契約先 | 支払条件 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 現場写真等の貼付欄  （注）　事業完了後、本手帳の提出を受けた融資機関が、現場写真等を添付します（借入金額６００万円を超える事業については必須）。 |

|  |
| --- |
| 口座等の内容の写し貼付欄（農業近代化資金の受払に係る分）  （注）　事業完了後、本手帳の提出を受けた融資機関が、提出を受ける際に通帳等の提示を受け、その写しを添付します。 |

記 入 の 要 領

　（１）入金の日付 　（２）出金の日付

　　　　借入金入金年月日（口座に振替られた年月日）　　　預貯金の払戻による支払い年月日

　　　　自己資金入金年月日

（記載例）

出　 納　 帳

１　入出金の記録 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **年　月　日** | **入　　金** | **出　　金** | **残　　高** | **支払先** | **内 　　 容** |
| ５．１５ | 300,000 |  | 300,000 |  | 自己資金（農協貯金から） |
| ５．２１ | 500,000 |  | 800,000 |  | 借入金 |
| ５．２３ |  | 450,000 | 450,000 | Ａ工務店 | 工事一時金払い |
| ６．２０ |  | 350,000 | 0 | Ａ工務店 | 工事精算金 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 | 800,000 | 800,000 | 0 |  |  |

２　事業費の調達 　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **区　分** | **事業費** | **資　　　　　金　　　　　調　　　　　達** | | | | |
| **この借入金** | **自己資金** | **その他（　　 ）** |  | **計** |
| **当初計画** | 800,000 | 500,000 | 300,000 | 0 |  | 800,000 |
| **実施結果** | 800,000 | 500,000 | 300,000 | 0 |  | 800,000 |
| **差　引** | 0 | 0 | 0 | 0 |  | 0 |

|  |
| --- |
| 当初計画と実施結果が違った場合の理由 |

農業近代化資金借入上の注意事項

　　農業近代化資金は、農業経営の近代化に必要な資金を低利で融通するために、国、県、市町村の財政負担により、利子補給を行っている資金です。

　　したがいまして、融資機関その他関係機関の説明を受け、特に、次の事項に注意してください。

（目的外使用の禁止）

１．　貸付金を借入申込みしたときの目的以外に使用しないでください。

　　　・実施する事業費の支払に充てること。

　　　・実施した事業の農業施設等はその目的に従い利用すること。

　　　・借り入れた資金を使用すること。（資金を借り入れた口座から支払い、その他口座からは、支払をしないこと。）

（融資率超過）

２．　事業を実施した結果実施事業費の減少により、融資率が８０％を超過する場合は、その差額について速やかに繰上償還をしてください。

　　※融資率８０％の貸付金が対象です。

（事前着工の禁止）

３．　借入申込後、融資機関から利子補給承認された旨の通知を受けるまで、事業は着工しないでください。ただし、やむを得ない事情により着工しなければならないときは、融資機関に相談してください。

（貸付金の保留等の禁止）

４．　融資機関から利子補給承認された旨の通知を受けたときは、速やかに事業に着手するとともに、借入金が長期にわたって貸付口座に滞留しないよう事業の進行を図ってください。

（事業内容等の変更の禁止）

５．　事業内容及び貸付条件等は、原則として変更できません。ただし、災害等やむを得ない事情があるときは、融資機関に相談してください。

（その他）

６．　借入者が農業者等でなくなったときは、繰上償還を行うことになります。

　　なお、農業近代化資金が適切に使用されていない場合は、融資機関に対し、利子補給の停止、既に交付された利子補給金の返還の措置がとられることがあります。この場合には、借入者について農業近代化資金の繰上償還等を行っていただくことになりますので、適正に使用していただくようお願いします。